

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【211】
2. 日 時：令和4年6月22日 14時00分～15時10分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

江寿企画調査官、千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、植木主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他1名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他15名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 副長※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁のハツリです。
0:00:06	ただいまから、島根 2 号機設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:11	本日の議題は 2 点ありまして、1 点目が、SA 荷重の組み合わせ。
0:00:16	2 点目が、土石流影響評価になります。よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:22	はい。中国電力の柏木です。よろしくお願いします。
0:00:26	規制庁の服部です。
0:00:28	ではまず本日の説明の進め方、これについて確認したいんですがいかがでしょうかどうぞ。
0:00:36	はい。中国電力の柏木です。本日の進め方ですけれども、まず、地震時荷重と事故時荷重との組み合わせについてご説明をさせていただいて、そこで一旦区切らせていただいで後半に土石流影響評価の方について、
0:00:50	ご説明をさせていただければと考えてます。以上です。
0:00:54	規制庁の服部です。まず SA 荷重の組み合わせの説明があった後に確認をするということよろしいでしょうかどうぞ。
0:01:04	中国電力の柏木です。言葉足らずですみませんでしたご認識の通りです。よろしくお願いします。
0:01:09	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは、まず資料の確認をお願いしますどうぞ。
0:01:16	はい、中国電力の柏木です。では地震時荷重と事故時荷重の組み合わせ等土石流影響評価、両方まとめて資料の確認をさせていただきます。まず地震時荷重と事故時荷重の組み合わせについてですが、
0:01:28	6 月 16 日提出の資料番号 N-S に他、120 回、01 の回答整理表で、5 月 10 日に、
0:01:40	ご提出済みの N-S に 02305 回 01 及び、
0:01:46	N-S2 歩 02306 回 01 の補足説明資料 2 点になります。
0:01:53	続きまして土石流影響評価ですが、6 月 16 日号提出済みの N-S2 他 083 回 01 の回答整理表、
0:02:03	及び、6 月 16 日提出済みの N-S に、018-01 回 05 の補足説明資料の 2 点になります。
0:02:14	資料は以上になります。
0:02:16	規制庁の服部です。資料の確認ができましたが、
0:02:20	この資料について番号付けていただいてもよろしいでしょうかどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	はい。中国電力の柏木です。では、まず、地震時荷重と事故時荷重との組み合わせの回答整理表を、一番、
0:02:35	補足説明資料の 023-05 の地震時荷重と事故時荷重との組み合わせについて、2 番、
0:02:46	もう一方の 023-06 の補足説明資料を 3 番。
0:02:55	続きまして土石流影響評価の方の回答整理表を、4 番、
0:03:02	補足の 018-01 の資料を 5 番とさせていただきたく思います。よろしくお願ひします。
0:03:10	規制庁のハツトリです。
0:03:12	それでは説明に際しては、資料名は番号で読んでいただいでよろしいでしょうかどうぞ。
0:03:19	中国電力の柏木です。はい、承知いたしました。規制庁のハツトリですはい、わかりました。それでは説明を始めてください。どうぞ。
0:03:29	はい。中国電力の柏木です。ではまず地震時荷重と事故時荷重との組み合わせについてのご説明をさせていただきたいと申ひます。
0:03:37	資料の一番をお願ひします。
0:03:44	こちらは地震荷重と事故時荷重との組み合わせの回答整理表になります。
0:03:49	資料ナンバーの一番から 4 番、こちらはですね回答日が 5 月 16 日となっておりますが、5 月 16 日の期限側のヒアリングの方で、
0:03:59	すでに回答をご説明させていただいてる内容になります。
0:04:02	今回ご説明させていただくのが、No.の 5 番ですねこちらが 3 月 16 日のヒアリングで、ご指摘いただきました件、建築土木側の、
0:04:14	コメントになります。
0:04:16	具体的な内容としましては、コメント内容のところですが、熱応力の扱ひについて、終局状態において鉄筋コンクリート部材に熱力を考慮しないことが、
0:04:26	わかるように説明することというコメントでした。
0:04:30	こちらにつきましては、回答ですが資料の 3 番。
0:04:34	をお願ひします。
0:04:36	資料の 3 番の 75 ページになります。
0:04:46	こちらは、建物構築物に関して、SA施設において地震力と組み合わせる荷重を整理した表になります。その下のところですが、文章の部分で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:57	終局状態において熱応力を考慮しない扱いとしているのが、鉄筋コンクリート構造物であるということがわかるように黄色のハッチ部分を、
0:05:07	明記しております。
0:05:11	こちらのコメント回答は以上になりますが、ちょっと合わせて、
0:05:16	資料の一番をお願いします。
0:05:19	資料の一番の、⑥のコメントにつきましてはこちらはですね 5 月 16 日の期限側のヒアリングでいただいたコメントになりこちら後日回答とさせていただきます。
0:05:31	1 枚めくっていただいて 2 ページになりますが、こちらは、方に記載の適正化箇所になりますが、こちらも大部分、記念側の、
0:05:41	範囲の内容になりまして特に本日ご説明をさせていただく内容はございません。
0:05:48	ご説明は以上になります。
0:05:51	規制庁の服部ですはい。説明は以上ということですが、いつも我々の県の場合は、コメント回答 1 問 1 等でやってるんですけども、今日は 1 個しかないということで、
0:06:06	なんですけれどもこの後、新規に説明するところってありますかどうか。
0:06:13	中国電力の柏木です。本日は、このコメント回答の 1 件分のみになり、新規で説明するところはございません。以上です。
0:06:21	規制庁のハツリですはいわかりました。ではまずこのコメント番号 5 番について確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:06:32	よろしいでしょう。規制庁の服部です。よろしいでしょうか。
0:06:35	はい、ではこの英語版については了としたいと思います。
0:06:39	それではその他資料全体を通じて確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:06:54	規制庁のハツリですはいでは私から少し何点か、
0:07:00	時計に各関係ないところもあるかもしれないんですけど確認させていただきます。
0:07:05	まず、資料番号 3-75 ページをお願いします。
0:07:12	この表 3、ワーSSと褶曲SDと褶曲。
0:07:17	の組み合わせについて書いてありますけれども、
0:07:21	T、前のページの 73 ページのところ
0:07:26	表 2 に、荷重の組み合わせのところSD+強力度というか、というのが運転時にあるんですけども、
0:07:34	これについては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:36	この表 3 のどこかに包絡されている。
0:07:38	取り返してよろしいでしょうかどうぞ。
0:07:53	中国電力の柏木です少々お待ちください。
0:08:27	規制庁の服部です
0:08:30	建物構築物にこの組み合わせがないというならその答えでも結構なんですけどいかがでしょうかどうぞ。
0:08:45	中国電力の柏木です。建物構築物にはその組み合わせはあるんですが、今回、この資料につきましてはちょっと終局状態。
0:08:55	のものについて並べて、記載をしておりますんで、
0:09:00	あくまでここでは、
0:09:04	建物構築物を全般施設として扱うということについてご説明するための補足説明資料になるので、騒音、DBの、
0:09:16	許容力度の評価のところについては特に記載をしておりません。以上になります。
0:09:29	開き
0:09:30	規制庁のハツリです。少し確認したいんですけども、
0:09:34	この補足説明資料 2 については、建物構築物委員。
0:09:41	おけるSA施設において地震力と組み合わせる荷重の一覧表になっているという理解です。
0:09:49	先ほどの説明ではこの中に、
0:09:51	運転時においてSDと組み合わせた場合の協力度への評価。
0:09:58	行うものがあるという回答を終えたんですけども、
0:10:03	まずその施設は具体的にどういうものがあるか説明いただけますかどうぞ。
0:10:41	中国電力の柏木です。
0:10:44	先ほどのDB施設において運転時、SDに対して協力度許容応力度評価を行う施設につきましては、
0:10:53	DBを援用する衛生施設。
0:10:56	におけるDBの評価で用いるものになりますので、例えば、
0:11:02	この表でいくと燃料プールだとかそういうADDを兼用する施設については、適用対象だと考えてます。以上です。
0:11:20	規制庁の服部ですそれは、
0:11:23	DBAのとき、
0:11:28	まあまあ褶曲と組み合わせますよ。
0:11:30	明周期褶曲で調査しますよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:33	運転時の時は協力度で照査椎名。
0:11:38	くてもよいという回答に対して少しちょっと、
0:11:42	本当に小令和、
0:11:44	やらなくてどっかに包絡されてやらなくていいもんなのかということであ ればいいという答え、確認には
0:11:53	小保内やらなきやいけないものであるというふうに今、
0:11:58	認識したんですけれども、
0:12:00	であれば、なぜ載せないのかな。
0:12:04	というところが少しわからなかったんですがもう一度確認をお願いします どうぞ。
0:12:09	説明をお願いしますどうぞ。
0:12:21	はい。中国電力の柏木です。ちょっとご確認させていただきたいんです が、
0:12:27	表3については、SA施設としての評価になります。
0:12:33	この
0:12:35	先ほどの表2の組み合わせについてはDB施設として、運転時の評価 として許容力度を使うっていう扱いになるんですが、
0:12:46	Ss-A時においては、
0:12:49	運転時の許容力度に対する評価はAとしないということになりますちよっ とこちらも管ご質問勘違いしてた部分があるかもしれないんですが、
0:12:58	こういうご回答でよろしいでしょうか。
0:13:01	規制庁の服部ですわかりました。
0:13:04	はい。その区画説明でわかりました。
0:13:08	あくまでもSA施設において地震力と組み合わせる荷重の表である。
0:13:14	ということで、表においてはその右側のSA施設、
0:13:19	ここのSDとSsのところを見るということで、理解をしました。
0:13:27	種、ほかにこの点について確認する方おられればお願いしますどうぞ。
0:13:36	規制庁の三浦です。今の話はSs施設としてってことなんでいいと思うん ですけど。
0:13:43	表にデービー接数でSDとの組み合わせ運転時、
0:13:47	この協力でやってるのプールはそういうふうにやられてます。
0:14:02	中国電力の柏木です。燃料プールについてはSDによる評価をしており ます。以上です。
0:14:10	これはあれですか。CCV規格の中の荷重状態さんと同じチェックをプー ルもしてるってことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:21	中国電力の柏木ですはい、ご認識の通りです。
0:14:24	はい。規制庁の梅田です。もともとプールはただあれですよ。加来の液位では、
0:14:30	格納容器ではないので、本来はケースの組み合わせとしては求められてないと思うんですが、
0:14:37	どうもその辺どういうふうに解釈されてますか。
0:15:08	戻しました中国電力の柏木です。鍛冶状態さんでSEで評価は今しておりまして、工認図書にそれは載せるつもりでおります。
0:15:22	具体的なちょっとその位置付けの内容だとかは、計算書の方のご説明のときに、ちょっと具体的にさせていただければと。
0:15:30	思います。いかがでしょう。わかりました。
0:15:34	一般的に何とかABWRみたいにプール等、あと市RCCVを一体で解いてるものは、鍛冶城田井さんでRCCVと同じチェックをするのでSDの組み合わせでくるんですが、
0:15:47	そうですか。これは本当に組み合わせSDの組み合わせやって悪いという話では全くないので。わかりました。計算書の時に、また詳細に教えてください。
0:16:02	中国電力の柏木ですはい、承知しました。
0:16:07	規制庁の服部です。それでは私からちょっと、もう少しだけ確認させていただきます。
0:16:13	資料番号をお願いします。
0:16:16	3 ページをお願いします。
0:16:19	すいませんこれはちょっと事実確認だけになるんですけども、
0:16:23	このページイノウエ文書を読んでいく等、
0:16:28	文脈的にこういうふうになるのかなっていうことでちょっと事実確認をさせていただきたくて、
0:16:34	真ん中辺
0:16:36	運転状態 4 ルートエスワンの組み合わせに於いて、
0:16:42	ECCS系と格納容器は
0:16:47	3、応力状態 3Sを適用します。
0:16:51	と書いてあって、
0:16:52	それに対してECSCSKに対しては云々かんぬんのこういう理由で、3Sの強限界を適用した評価を求めると。
0:17:02	というふうに書いてあって、
0:17:04	その下は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:07	減少格納容器については、
0:17:09	6号の最大内圧とS&の組み合わせにおいては4S、
0:17:15	が求められているって書いてるんですけど。
0:17:18	これはこれで書いてあることは、理解できるんですけども、文脈すると、ここは、
0:17:25	上でECSCSK等減少館野要件については3Sの協議会を適用するというくだりに続いているので、
0:17:34	その原子炉格納容器についてもう何かこうこういうサンエイ数、
0:17:38	を適用するというふうな文脈になるのかなと思いながら読んでいて、いきなりここで4Sって書いてあった時にちょっと混乱したんですけども、
0:17:48	これはセンコーからこういう記者になってるという理解でよろしいんでしょうかどうぞ。
0:18:02	中国電力のク라마スです。
0:18:04	今のご質問あった部分については、センコーから同じ記載かというよりはここではあくまでJEAG4601における、配架中の組み合わせ。
0:18:16	協力所許容応力状態の適用等について、ここでの段落で全体的に整理している内容になりますので、内容としてはあくまで条約4601における規定を要約したものということでございますで、今の
0:18:31	ECCS系に対する、3ASの強限界の適用ですとか、あと格納容器について、ロッカー後の最大内圧とASRとの組み合わせにおいて4Sの適用といったあたりが特記事項的な内容になりますのでそれらをこちらにまとめて記載していると。
0:18:49	いうものでございます。以上です。
0:18:52	規制庁のハツリですはい。わかりました。
0:18:57	補足説明資料3の方を読むと、より明確に記載がわかるような記載になっているので、
0:19:05	それを読んだ、それを読んだ後またこっちを読み返すと、何かちょっと奇異な感じがしたので書いてある内容がどうのこうのというよりも、文脈として何か、
0:19:17	サンエイ数、
0:19:19	要するにECCS系と、原子炉格納容器は3Sにするんだよってこういう特異性を示した中で、それぞれECCS系と原子炉建物容器についてその理由を説明してるような、
0:19:31	そういう文脈なのかなあということで、少し気を感じたので、ちょっとそこから辺を事実確認をしたということでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:38	そういうことで理解していただければと思いますがいかがでしょうか。
0:19:47	規制庁の服部須田から 9 名書き換えるとかそういう問題じゃなくて事実確認だけという意味で確認しました。いかがでしょうか。
0:19:58	はい。中国電力のクラムスです。はい。承知いたしました今服部さんおっしゃられたところで、理解、認識としては一致してるかなと思いますのではい当社としても承知いたしましたということです。
0:20:10	以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。
0:20:14	あと、少し細かいんですけど、ちょっと確認というか、をさしてください資料 3 の 37 ページをお願いします。
0:20:25	これ表 6-1-1、全施設の荷重との組み合わせの協力状態の
0:20:31	運転状態 V のところの記載の方法なんですけれども、
0:20:36	その次のページ、P、PCVとかRPVについては、それぞれ、SとLとLLでそれぞれ分けて、
0:20:47	対象とならないところはバーのような形にしている、
0:20:53	ここはもう一緒に 4
0:20:58	5Sというような記載になってるんですけど、
0:21:03	これちょっと確認したかったのわあ、
0:21:07	どこだろう。
0:21:09	18 ページかな。
0:21:13	なんか 18 ページを見るとちょっと私の認識でわあ、
0:21:18	もう前ん全般施設については、
0:21:21	保守的に、
0:21:25	4、5Sのところのものと、
0:21:30	Ssを、
0:21:32	もう包絡させて組み合わせを一括でやってしまう。
0:21:37	これで持っていればこれで
0:21:41	と安全性が確認されれば他のところの組み合わせも確認されるでしょうという認識をここで知っていて、
0:21:48	そうする等、
0:21:50	37 ページの表も、3 分割になっていて 5Sのところ、5Sのところ、
0:22:02	この記載があつてその他バーになるんじゃないかなと思いつつ、こら辺がどうしてここだけ、
0:22:10	一つにまとまってるのかなっていうところをちょっと説明いただきたいんですがいかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:20	はい。中国電力のクラムスです。はい。まず、全般施設に対しての荷重の組み合わせSA後の最大の荷重と、Ssを組み合わせ、ASの許容限界を適用すると。
0:22:35	ということで、はい、服部さんご認識の通りだと思っております。それを表で表現する際に、37ページの全般施設の6.1-1の表と、
0:22:48	今その次の38ページの6.2-1PCVバウンダリーの表を見比べられてのはご確認かと思いますが、全般施設の方ではご認識の通り、
0:23:01	SA後最大の荷重とSsを組み合わせ5Sで評価するということになりますので、Ssのところに5Sという表現でまとめることができるということで一つの欄にして、
0:23:14	おりますのに対して例えばPCVバウンダリーの次の38ページの6-2-1の表の方でいきますと、
0:23:24	運転状態、5Lに対してSD。
0:23:28	を組み合わせるVLLに対してSsを組み合わせるということでこちらはそういった書き分けが必要になってくるということからこのような表の構成にさせていただきます。
0:23:39	以上です。
0:23:41	規制庁の服部ですはい。わかりましたこれが駄目だとかかそういう問題ではなくてどうしてまとめたのかなということによって全部に包括包絡されるので一つにまとめましたという。
0:23:52	ことかなということによって理解をしました。
0:23:56	あと69ページお願いします。
0:24:00	すいません国庫の資料。
0:24:04	参考の資料の考え方がよくわからなくものがよくわからなくて、
0:24:12	ここでわあ、
0:24:16	一見する等、確率論的に言えば、
0:24:20	Ss相当の地震が2回来てもう、
0:24:24	性能目標、
0:24:26	のCDFを満足しますよ。
0:24:29	というふうにも、
0:24:31	見えてですね。
0:24:34	これわーんな2、
0:24:37	能評価と関連した参考なのか、っていうことをちょっと確認したかったんですがいかがでしょうか。
0:24:50	中国電力のクラムスです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:52	少々お待ちください。
0:25:09	中国電力の柏木です。すいませんちょっと今のご質問ですがちょっと確認に時間を要しそうなので、よろしければちょっと他の
0:25:18	内容を先に進めていただければと思うんですがいかがでしょうか。規制庁の服部ですわかりましたこれ、よくよく読んでいくといろいろわかるんですけどぱっと最初だけ見たときは、
0:25:28	Ssが2回来ても、連続して2回来ても大丈夫なような設計をされてるのかなってちょっと間、
0:25:34	違いを最初したので、ちょっと確認だけしたかったのもまたちょっと説明をお願いできればと思います。では補私からは以上なんですけど他に何か。
0:25:42	あればお願いしますどうぞ。
0:25:48	規制庁の三浦ですちょっと先ほど私、
0:25:52	プールに対して、ちょっと間違っただけを言ったような気がするので、もう一度確認をします。
0:25:57	これもともとプールSクラスなんでSGとの組み合わせはいるんですよ。
0:26:02	そのSDとの組み合わせを行う上で、CCV規格、納期対象範囲外なんだけど荷重状態さんで、そのチェックをやってる。
0:26:14	ということですよ。
0:26:20	はい中国電力の柏木です。今、三浦さんがおっしゃられた通りの認識で当社の方でも、公認を整える予定です。以上です。はい。ちょっと私先ほどちょっと勘違いして言っていたので、
0:26:34	今ので、はっきりしましたので、もうこれに関してはもう結構です。はい。
0:26:41	中国電力の柏木ですはい、承知いたしました。
0:26:46	規制庁のハツリです他あればお願いします。
0:26:50	よろしいですか。
0:26:56	規制庁の服部です。
0:26:57	中国電力の方で少し時間がかかりそうであれば、
0:27:02	一旦また最後に、全体を通して確認しますので、その時に回答していただければと思いますが、いかがでしょうかどうぞ。
0:27:16	はい中国電力の柏木です。ではちょっと申し訳ないんですがまた後程ご回答させていただければと思います。以上です。規制庁の羽鳥です。それではSA荷重の組み合わせについては
0:27:29	一旦確認を終わらせませ終わら終わりましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:35	次の土石流影響評価の方の説明に入りたいと思いますが、
0:27:41	土石流影響評価についてわあ、まずコメント回答 1 問 1 等で確認してもよろしいでしょうかどうぞ。
0:27:52	はい中国電力の柏木です。はい 1 ポイントでご対応させていただきます。
0:27:57	規制庁の服部スサ委員それではコメント回答 1 問 1 等で確認をしましてその後、全体を通して説明があれば説明していただいて全体を通して確認するという流れで、
0:28:08	やりたいと思いますのでお願いします。では、土石流影響評価について説明を始めてくださいどうぞ。
0:28:16	中国電力の荘司です。それでは土石流影響評価についてご説明させていただきます。こちら、前回いただいているコメントにつきまして建築側土木側それぞれコメントございますので、説明者適宜変わりながらご説明させていただきます。
0:28:31	それでは資料No.4 回答整理表をお願いいたします。
0:28:35	2 ページお願いします。
0:28:39	コメントNo.の 1 といたしまして、表 6-3、衝突荷重算定時の土砂量と実際に衝突荷重、実際に衝突荷重算定に使用している。
0:28:50	土砂量の関係がわかるよう記載を適正化して説明することというコメントいただいております。こちら、
0:28:57	資料番号 05 の補足説明資料 12 ページをお願いいたします。
0:29:06	前回ヒアリング時点では衝突荷重算定時、及び堆積荷重算定時ということで記載しております。実際にどの、
0:29:15	土石流衝突中算定におけます、経過リック流出土砂量を使ったのかということが、わかりにくい記載になっておりました。
0:29:25	今回図 6-8 にお示しております。①から③ということで、移動可能土砂量をそれぞれ記載しております、
0:29:33	今回、
0:29:36	衝突荷重算定に当たりましては、溪流全体の流路から、
0:29:42	土石流が発生すると仮定して全体の車両を、
0:29:47	丸めて 1000 立米ということで次、自社の、
0:29:51	調査結果として計画流出土砂量を表 6-3 に記載してございます。
0:29:56	こちらの当社の調査結果と島根県の調査結果、
0:30:01	それぞれ包絡するよう、保守的に丸めまして 2000 立米と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:06	ということで、今回、2000 立米を事象想定計画流出土砂量として使用しております。ご説明以上になります。
0:30:17	規制庁の服部です。
0:30:19	今のところの説明についてちょっと記載だけなんですけれども確認したいんですけれども、
0:30:26	ちょっとやっぱりわからなくて、
0:30:29	黄色のところ、
0:30:31	を読むと、
0:30:32	まず
0:30:35	一般の土石流の移動可能土砂量は 750 立米である。これはわかります。②のところからは、750 立米のものが入ります。
0:30:45	その下に、
0:30:47	今回どうせ、
0:30:52	流出量を、を算定するにあたっては衝突荷重と書いてあるんですけど、算定するにあたっては、
0:30:58	保守的に、
0:31:00	すべての流路から同時に、
0:31:03	土石流が発生する事象を想定していうところまで読んだ時点で、
0:31:08	私はその下流路が 123 とあるので、
0:31:13	すべての流路というのは 123 すべてだということで、ここに書いてある 410 と 750 と 480 を全部足して 1640。
0:31:25	というのを頭に浮かべながら、溪流全体の以下の移動土砂量を、
0:31:36	度量として評価すると読みました。
0:31:40	その上で、次の段落にいくと、表 6 の通り、
0:31:45	自社調査結果による流出量は 1000 立米。
0:31:50	とあるんですけれども、
0:31:52	これを読んだときわあ、この 1000 立米というのは 750 の
0:31:58	溶炉 02 の 750 を切り上げて 1000 立米にしてる。
0:32:04	島根県調査結果の 100、1170。
0:32:10	と比較して、大きい方 1170 をとって、それを保守的に切り上げて 2000 にした。
0:32:18	という、
0:32:20	文章に読みました。
0:32:22	そうすると保守的にすべての流路の 1640 ってどこ行っちゃったんだろうなっていうのがここでわからないんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:32	これわあ、
0:32:37	もともと喜寿基準っていうか規格による等、
0:32:43	すべてのルールを同時にということではなくて、各流路でMACCSを取ればいいというふうな規定があって、
0:32:51	本来であれば、1000立米でいいんだけど、
0:32:58	というところ等、
0:32:59	すべてのルールを同時にというところが、ごちゃごちゃになって、こういう記者になってんのかなというふうに思ったので、こちら辺の記載の趣旨というのを少し説明していただけますかどうぞ。
0:33:13	はい。中国電力の荘司です。ちょっと記載が、
0:33:17	ごちゃごちゃしてしまってわかりにくいんですけども、流路①から③の足し合わせというところで図6-8を見ていただきますと、
0:33:27	それぞれ単純に123を足し合わせてしまいますと脳塞栓ノーゴーですかの3というのが重ねて足し合わせてしまう形になります。
0:33:37	26ページの参考1をご覧くださいんですけども、
0:33:42	こちら見ていただきますと、測線A-1からA-5をそれぞれ足し合わせて980立米と、一番右の列に書いておりますがこちらが、
0:33:53	土石流危険渓流⑦の渓流全体の移動可能土砂量となります。今回こちらの980を、すべての流路から同時に、
0:34:03	発生した土石流の移動可能土砂の和として扱っておりましてこちらを切り上げて1000立米ということで、自社調査結果として扱っております。以上です。
0:34:18	すいません補足させていただきます。26ページに記載しております表1を、
0:34:23	前の12ページに持ってきて、それで流れがわかるように適正化をしたいと思います。
0:34:31	以上です。
0:34:33	規制庁がハットリですはいごめんなさい。
0:34:37	この12ページだけ読んでと。
0:34:40	この流路という言葉が一、その下に出てくるので、
0:34:44	すべての流路っていうと1から入戸3を足し合わせるのかなってちょっと思ってしまいました。
0:34:49	そうですねそれ一。
0:34:54	は少しわかりにくいかなあ。
0:34:56	と思いますのD。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:59	もしかすると
0:35:01	6-8 のここの移動可能リュ土砂量って、
0:35:10	表 6-3 の計画流出土砂量を算定するに当たって、
0:35:15	何も使っていない関係ない数字なんですか。どうぞ。
0:35:23	はい。中国電力の荘司です。本来、そうです。砂防指針に基づきますと流路②を使用するという意味でこちらに記載してございます。以上です。
0:35:34	そうですね。だから、そこらへんがやは、記載の中で少し、
0:35:40	わかりにくくなってると思いますので、
0:35:45	もし、今日まだ記載の適正化等で何か少し確認が出れば、
0:35:54	次回その説明があるのであれば
0:35:57	それはそれで、
0:36:00	そのとき説明していただきたいと思いますが、今日、そこら辺がすべてクリアになって、解決するのであれば、ここの点については、改めてヒアリングで確認するというよりも、
0:36:12	まとめ資料、補足これ補足説明資料なのかな。
0:36:18	補足説明資料の方で、
0:36:20	記載の方で確認したいと思いますので、
0:36:23	そういうことで対応したいと思いますが一応ここについては、適正化をお願いしてもよろしいでしょうかどうぞ。
0:36:32	中国電力の荘司です。承知いたしました 12 ページで全体の先ほどご説明した流れがわかるように、適正化したいと思います。以上です。規制庁の服部ですはいわかりました。では今のコメント番号一番については継続、記載として継続したいと思います。次お願いしますどうぞ。
0:37:15	規制庁の服部です。次お願いしてもよろしいでしょうかどうぞ。
0:37:19	すいませんマイクが入ってありませんでした。資料④の回答整理表をお願いします。
0:37:26	資料ナンバー2 という、失礼しましたコメントナンバー2 といたしまして、測線 A-3 は、簡易介入試験で侵食深さを設定していることがわかるよう適正化して説明することとせずコメントいただいております。
0:37:40	補足説明資料 25 ページをお願いいたします。
0:37:49	はい。25 ページ、上側になりますが横断測線 A-3 の調査結果ということで前回から会員貫入試験結果をお示してございますが、記載、
0:38:00	調査結果の記載の方に、簡易介入試験の結果からして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:05	県侵食深さを求めたということが、わからない記載になっておりましたので今回黄色ハッチをつけております部分で、記載を適正、適正化しております。以上です。
0:38:17	規制庁のハットリですはい確認しました。ただ1点ちょっとこれは記載だけなんですけれども、確認します。
0:38:27	このA-3 以外のA4 と、
0:38:32	2 については、
0:38:34	土石流、最後のところですね土石流発生予測深さを 0.5 メートルにしたという記載になっているんですけども、3 については、
0:38:45	を求めたっていう記載になっているので、
0:38:48	もう何だろう、資料としての体裁を考えると、
0:38:54	このAさんについては、
0:38:56	0.4 メートルにした。
0:38:59	て書いた方が何かすっきりするんですけども、これは別に、
0:39:05	記載費の適正化というよりも、
0:39:07	構成から見た、
0:39:11	こうした方がいいのかなという意見も含めて確認したいんですがいかがでしょうかどうぞ。
0:39:19	はい。中国電力の荘司です。
0:39:22	提唱いたします。他のA2A4 と整合させるように記載を適正化したいと思います。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。次お願いしますどうぞ。
0:39:36	中国電力の小路です。資料ナンバー④の該当整理表 2 ページの、コメントNo. 3 になります。
0:39:44	島根県の現地調査、1-1 に対応する評価を、当社の現地調査農産で代表させる根拠がわかるよう、資料の充実化を行うこと。
0:39:55	ということでコメントいただいております。28、補足説明資料 28 ページをお願いいたします。
0:40:05	28 ページの上が平面図をご覧いただきたいと思いますが、島根県調査による側線 1-1 に対応するのは、当社の現地調査ですとA-5、
0:40:16	ということで、
0:40:17	になっておりますけれども、
0:40:20	当社の調査ではA-3 のみで測線、
0:40:24	A-3 で現地調査を行っております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:28	28 ページの下にA-5 の写真をつけておりますが、29 ページ上側の写真、A-3 と、
0:40:36	見比べていただきますと、お書きいただけると思いますが、
0:40:40	A-5 からA-3、A-1 と続く一連の溪流であることから、それぞれA-5 との 1 の評価をA-3 に代表させているという記載を加えてございます。以上です。
0:40:53	規制庁の服部です。はい。確認しました。これはこれで結構です。次お願いしますどうぞ。
0:41:02	はい。ありがとうございます中国電力の荘司です。それでは、資料ナンバー4 のコメントNo. 4 になります。
0:41:10	基準地点から上流 200 メートルの平均勾配、 $\theta 0$ の算定に用いた土石流の流路がわかるよう記載を充実化すること。
0:41:18	というコメントいただいておまして、補足説明資料 15 ページをお願いします。
0:41:27	前回ヒアリング時点におきまして危険溪流内に複数存在する流路のうち、移動可能土砂量最も多い流路で、平均勾配を算定すると記載してございましたが、
0:41:37	その移動可能土砂量が最も多い流路とは、すなわちどれなのかという趣旨のコメントをいただいたとさせていただきます。
0:41:44	こちら黄色で記載を追加しておまして、あわせて図 6-12 の平面図にそれぞれの流路の名称を加えて適正化しております。
0:41:55	移動可能土砂量が最大となる流路、すなわち流路②で平均勾配が、平均勾配を算定しております。以上です。
0:42:05	規制庁のハツリですただいまのコメントに対応とか説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:42:16	はい、了解いたしました。基本的に今、先ほどもちょっと話ありましたけれども、
0:42:24	この流路 2 で流れる、イド狩野ロード車両が 751 番大きいからということでこれに従って勾配を受けましたということで、そう考えてよろしいですね。
0:42:39	中国電力の荘司です。ご理解の通りでございます。はい、了解いたしました。
0:42:48	規制庁の服部です。では次お願いしますどうぞ。
0:42:53	はい、中国電力のナカムラですそれでは 4 番の資料の 2 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:58	コメントNo. 5 番ですが、こちらは申し送り事項に対する、ご指摘事項でした。衛藤コメント内容としましては、土石流による転倒についてコメント内容を網羅するよう回答内容を適正化して説明することでございます。
0:43:14	同じく4番の資料の1ページをお願いします。
0:43:18	申し送り事項147の回答としまして前回転倒と活動に対することしか回答ができておらず記載が不足しておりましたので、
0:43:32	当会と活動だけでなく点等についても記載を追加しております。あわせて、衛藤。
0:43:39	少し、具体的な評価内容と評価結果についても、記載を充実しております。具体的には、管理事務所4号館が土石流危険区域7に含まれており、防波壁に隣接していることから、
0:43:52	倒壊転倒した場合、及び、基礎底面の活動により、防波壁に影響を及ぼさないことを確認しました。確認の内容として、倒壊及び転倒に対しては、
0:44:03	倒壊及び転倒を想定しても防波壁に衝突しない程度に十分な離隔距離を有すること。
0:44:10	それから活動に対しては、活動した場合に、防波壁等の十分な離隔距離を確保できない恐れがあることから、衝突荷重により、基礎底面に活動が生じないことを確認した旨を記載しております。
0:44:24	コメント番号5番についての回答は以上となります。
0:44:29	規制庁の服部です。ではただいまの説明に対して確認する点がある方をお願いしますどうぞ。
0:44:36	江崎ですけどもこれ私のコメント等ですけども、ただいまの回答で、
0:44:43	いかがでしたので、私はこれで納得済みです。以上です。
0:44:52	規制庁のハトリですはい、わかりました。ではただいまのコメントに対しては了としたいと思います。
0:44:59	ただ1点ちょっと確認なんですけど、これは規制庁内で確認することもあるのかもしれないんですが、
0:45:05	申し送り事項147わあ、
0:45:08	中国電力の分類ではBになっていますよね。
0:45:12	なの形式的には審査会合で説明するものに当たると思うんですけども、
0:45:21	ちょっとこれを審査会合でどこまで説明するかは、今後確認するとしまして、
0:45:28	エザキですけど多分審議のチーム内で、今日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:34	検討すればいいと思いますけど、減築して当たらないように離隔をとったっていうふうな話ですんで、だからあまり大した話じゃないかなって感じがしますけどね。
0:45:46	いわゆる委員も含めて検討し、確認取らなきゃいけない事項かっていうことで、観点からすると、
0:45:53	多分対応、もともとはぶつかるということで要は同定ぶつかるっていうこともあって、ただ緊急性をよ、運用するような話ではあるんだけど、
0:46:05	殊て研究生とか重大性が高かったですけど、基本的に元の建物をつくる、いわゆる作り直してぶつからないようにしたってことなんで、
0:46:16	結局はさほど抜本的に、方針を見直したっていうことで、特段大きな論点があるものではないので、
0:46:25	山崎委員の同意を求める必要があるかどうかって考えていた編はチームで打ち合わせしてください。
0:46:34	規制庁の八田ですはい。ありがとうございます一応ですねそこら辺も含めて今後ちょっと確認をするというということで、いずれにしるBになることもあって、
0:46:46	あと申し送り事項であることもあってこれについてはですね、今回了とせず、全体が確認が終わった時点で量になるということで、認識していただきたいと思いますのでお願いします。
0:46:57	ではそこまでするかどうかってのはありますよね。齋藤さんと話した方がいいと思うんだけど、多分、
0:47:05	すべての公認の会を閉じるときに、
0:47:10	多分、
0:47:12	今まで小さいものも含めて一遍にですね、10件、10キロとは言わないけど10件近くのを、
0:47:20	1ページぐらいにまとめて、細かいやつを一斉に
0:47:26	説明して終わりとするのも、要は、
0:47:29	終結宣言のコメント、会合をやるんですけどそうその場で説明してもいいのかもしれませんがね。だから、その他雑多と一緒にってことで、
0:47:38	1ページぐらいの話で、みんな、
0:47:41	各1件、1ページぐらいで説明するようなのが最初、最後にあるんですよ。
0:47:48	そういった扱いでするもしするんであれば
0:47:51	そこまでコメントバスとすると、
0:47:55	かなり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:57	今年の 12 月から来年の 1 月ぐらいになっちゃうということ。
0:48:01	もし踏まえるとしたら、
0:48:03	そこまで※コメントを
0:48:08	オフ
0:48:10	終わらせないっていうのをちょっと
0:48:12	フジイのような気もするんで、その辺はちょっと、大江サイトウさんとか含めて、ちょっとその辺は決めてください。
0:48:22	規制庁の八田ですはいご意見ありがとうございます。ただいまのいろいろな話が規制庁内の話になってしまったかもしれませんが、中国電力側としては、ご理解いただいたということでもよろしいでしょうかどうぞ。
0:48:43	中国電力の仲村です。はい、承知しました。
0:48:47	規制庁のハツリですはい。それでは次お願いしますどうぞ。
0:48:52	はい。それでは 4 番の資料コメント回答整理表の 6 番のコメントについて説明させていただきます。
0:48:59	内容としましては、倒壊転倒及び活動による管理事務所 4 号館の防波壁への波及的影響の判断基準の考え方を整理して説明することです。
0:49:11	⑤の資料の 1 ページをお願いします。
0:49:17	1 ページの一番下の二つの段落の方に、倒壊及び転倒それから活動に対する判断基準の考え方を記載しております。
0:49:27	先ほどの回答整理表の回答内容と、記載の内容は重複しますが、倒壊及び伝統に対しては、想定しても、防波壁に衝突しない程度に、
0:49:38	十分な離隔距離を有することを確認する。
0:49:41	それから活動に対しては、活動した場合には防犯域との十分な離隔距離を確保できない恐れがあるか、あることから、土石流による衝突荷重により、建物基礎、この建物独立異動となっておりますが、
0:49:54	その丁寧な活動が生じないことを確認するということを記載しております。6 番の回答としては以上です。
0:50:03	規制庁のハツリですはい。ただいまの説明は⑤の時の説明とほぼ同じ。
0:50:09	ということで、
0:50:12	認識したんですけれども何かありますでしょうか。どうぞ。
0:50:15	確か 5 番じゃなくて 6 番、6 番の私のコメントでしてちょっと勘違いしました。これは 5 番と同じで、私たちは納得済みですんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:26	独立基礎といえどもほぼ命令がされている状態なんで、特別基礎そのもので検討するって話ですよ。5番6番の話ですよ。
0:50:37	それは、
0:50:39	そう。
0:50:41	この資料見て読んでですね、理解できましたんで私としては納得済みです。
0:50:49	規制庁の服部です。それでは6番については了としたいと思います。では次お願いしますどうぞ。
0:50:57	中国電力の仲村です。それでは4番の資料の2ページをお願いします。
0:51:02	コメントNo. 7番です。内容としましては、土石流の衝突荷重の算定に用いている内部摩擦角の不確かさを考慮した影響検討を実施することです。
0:51:13	5番の資料の14ページをお願いします。
0:51:18	14ページの(5)としましては土石流に含まれる土石等の内部摩擦角 ϕ につきましては、前回のヒアリングにおいては、35度を採用した旨をご説明しておりました。
0:51:32	今回、最後の段落、なお書き以降において、内部摩擦角20°程度というのが、
0:51:40	6-2-1-3、地盤の支持性能に係る基本方針に記載があることと、あとその下の図6-11に、
0:51:48	ϕ が35度以下の記載もあることから、内部摩擦角を20度に設定した場合の影響検討を実施して、した旨を記載しております。
0:51:57	それからページ飛びまして21ページをお願いします。
0:52:03	こちらには影響検討結果として6.5、内部摩擦角 ϕ の影響検討という章を新たに追加しております。
0:52:11	表6の八人内部摩擦角を20°に設定した場合の土砂の衝突荷重を記載しております。
0:52:18	また、その下表の6-9に、その土砂の衝突荷重に対する管理事務所4号館の活動による影響評価結果を記載しております。
0:52:28	内部摩擦角を20度に設定した場合においても、活動による防波壁の影響がないことを確認しました。以上です。
0:52:38	ホ規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方をお願いします。
0:52:44	江崎です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:45	このコメントも私の方から、指摘を私がしたものですけども、基本的にはそのとき申し上げたように、
0:52:55	20 度程度まで、いわゆる、
0:52:59	土石流ですから、ある程度、緩んでる状態で起きるものとして考えたときには、20 度ぐらいの不確かさ、
0:53:08	ていうのは
0:53:09	考えるべきではないかということで今回検討していただいて、一応、
0:53:14	影響としては活動に対しても、十分、
0:53:18	今建築した
0:53:21	管理棟が余裕を持って位置できてることがわかりましたんで、これで結構です。
0:53:31	規制庁の羽鳥です。はい。それでは 7 番、
0:53:36	何。7 番については了としたいと思います。では次お願いしますどうぞ。
0:53:43	中国電力の仲村です。それでは 4 番の資料 2 ページをお願いします。コメント番号 8 番ですが、コメント内容としましては、活動の抵抗力として基礎版全体の面積を考慮していることについて、
0:53:56	建屋構造等の特徴を踏まえて記載を充実させることです。
0:54:01	5 番の資料の 5 ページをお願いします。
0:54:07	5 ページの上の方、6.4. 1、概要のところの 2 段落目に、評価方針として記載を充実しております。
0:54:17	評価は土石流による衝突荷重及びその他考慮すべき荷重に対して、
0:54:21	建物基礎底面のせん断抵抗力が十分な余裕を有していることを確認する。
0:54:26	さらに、本建物の基礎は独立基礎であり、基礎梁で接続されていないことを踏まえ、独立基礎底面のせん断抵抗力を考慮する旨を記載しております。
0:54:38	それからまた、20 ページに飛んでいただきまして、
0:54:43	20 ページの 6.4. 5、評価結果の二つ目の段落の記載も追加しております。
0:54:52	一段落目においてせん断抵抗力に十分な裕度を有していることを記載した上で、なお書きとして底面の有効最下面積について、管理事務所 4 号館の独立基礎は、
0:55:03	基礎梁で接続されていない、いませんが、鉄筋コンクリート造の土間スラブ、こちら厚さ 10150mm になりますが、その水平力の伝達に期待でき、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:14	独立基礎底面のせん断抵抗力にも十分な余裕があることから、建物全体として活動することはないと判断した旨を記載しております。
0:55:24	コメント番号 8 番に対する回答としては以上となります。
0:55:28	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:55:38	規制庁のミウラです。私のコメントだと思うんですが、これなぜ、
0:55:42	5 ページと 20 ページでここ記載内容を変えてるんですか。
0:55:47	20 ページの方あれですよこの間のご説明で土間があるから全部で面積を考慮していいんじゃないかっていうことをおっしゃってその通り書いていただいているんですが、
0:55:56	なぜ 5 ページの方は、
0:55:59	基礎張りで接続されていないことを踏まえ、っていうんで、
0:56:04	言葉を、この後に土間の話を書いてないと何か理由があるんですか。
0:56:11	中国電力の仲村です。少しちょっと補足させていただきますと、衛藤。
0:56:17	日本語間の活動の評価としましては独立基礎の底面の摩擦力のみに期待して評価をしております。20 ページの
0:56:28	上の方、式の記号の説明がございましたけれども、
0:56:32	Aの説明の黄色ハッチング部分ですけれども、独立基礎の底面の面積として、
0:56:39	せん断抵抗力を評価しております。
0:56:42	江藤評価結果の最後のなお書きに記載したものとしましては、
0:56:47	衛藤。
0:56:49	衛藤。
0:56:51	戸松ラブン。
0:56:52	150mmの土間スラブによる水平力の伝達にも期待できて、この、先ほど申し上げたように、独立基礎底面のみで評価したせん断抵抗力にも十分な余裕があることから、
0:57:03	建物全体として活動しない旨を記載したものととなります。以上です。
0:57:08	規制庁の三浦です 20 ページの話よくわかるんですが、何で 5 ページの方に土間スラブがあって、
0:57:17	全体で底面の抵抗力を、
0:57:20	私はして構わないよってことが記載されていないんですかというのが私の質問です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:29	中国電力の仲村ですご指摘の趣旨を理解しました少しちょっと5ページの方記載が不足しているかと思しますので、20ページの記載と合わせて藤堂松浦部で、
0:57:40	水平力の伝達に期待できるという旨も追加させていただきたいと思えます。以上です。はい、すみませんが、その方がすっきりすると思うんでよろしく願います。
0:57:55	規制庁のハツリですはい、それでは8番については、
0:58:00	記載ですけど、これも記載を充実させることですから、継続ということでよろしいですねどうぞ。
0:58:11	はい。中国電力の仲村です。はい承知しました8番のコメントの継続として先ほどの記載適正化のほう対応したいと思えます。以上です。
0:58:19	規制庁の服部です。
0:58:20	それではコメント回答については以上でよろしいでしょうかどうぞ。
0:58:26	はい、中国電力の仲村です。はいコメント回答については以上となります。規制庁のハツリでそれでは工認記載適正化適正化箇所について、説明するところがあれば願いますどうぞ。
0:58:40	はい。中国電力の仲村です。衛藤。
0:58:43	適正化箇所については、少し、主なものに絞ってご説明させていただきます。
0:58:50	④の資料の3ページをお願いします。
0:58:55	適正化のNo.11と12につきましては、先ほど申し送り事項の回答のところでも触れましたが、今回倒壊転倒滑動という三つの事象に対する評価を、
0:59:09	したことを、回答整理を申し送り事項の回答整理表の方で、
0:59:14	明確にしたことを踏まえまして補足説明資料内でも、倒壊転倒滑動という表現を統一したものととなります。
0:59:23	それから、申し送り、適正化の飛びまして15番ですが、
0:59:28	こちら先ほど少し20ページのところで触れましたけれども、評価としては独立基礎の底面の面積におけるせん断抵抗力を評価していると。
0:59:39	いうところが明確になるように、独立基礎底面という記載を追加した部分がある旨を15番の方で説明しております。
0:59:48	それ以外の適正化につきましては、資料内で少し言葉がぶれていたりちょっと誤解を生むような表現であったところを誤記訂正したものととなりますので、説明のほうは省略させていただきます。
1:00:00	記載適正化に関する説明としては以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:04	規制庁の服部です。それではただいまのか、説明に対して確認する点がある方お願いします。
1:00:11	よろしいですね。
1:00:12	はい。それでは資料について、追加で説明する箇所があればお願いしますどうぞ。
1:00:21	中国電力のナカムラです追加でご説明する内容はございません。以上です。
1:00:27	規制庁の服部です。それでは資料全体に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:00:37	よろしいでしょうか。
1:00:39	はい。ではとりあえず、先ほどのSA荷重と土石流評価については、確認をしたということでございます。
1:00:52	先ほどSE課長について、何かまた新たに確認しようかなっていうところがあればお願いします。
1:00:59	よろしいですか。
1:01:01	はい、では先ほどのSA荷重の最後の確認に対して回答って準備できてますからどうぞ。
1:01:08	はい、中国電力のクラマスです。
1:01:11	はい。服部さんからご確認あった事項について、回答さしていただければと思います。
1:01:17	資料、本日の番号取り資料 3 番の補足説明資料、
1:01:24	66 ページ以降の、はい参考となっている余震全身を考慮した炉心損傷頻度の算出について、この検討の位置付けはというご確認だったと認識をしております。
1:01:38	まず、この資料の、ちょっとさかのぼるんですけども、12 ページを例にご覧いただければと思います。
1:01:48	12 ページでは、図 4-2 のタイトルとしては、独立事象に対する荷重の組み合わせの選定手順としておりまして、SAは、地震、
1:01:59	起因では発生しない地震とは独立した事象であるというふうにSA事象を扱っておりまして、それを前提に、この図 4-2 のような検討のフローで、発生確率年超過確率等を用いた組み合わせの検討というものを行っております。
1:02:16	この資料のページで 46 ページ。
1:02:22	から、
1:02:23	のところになりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:27	はい。46 ページから、添付資料の 2 ということで、先ほど、
1:02:32	組み合わせの検討の前、
1:02:34	前提としておりました、SAは地震の独立事象であるというところについて
1:02:41	検討をですねまとめたものがこの添付資料 2 になります。その中に、ちょっと後ろの方になりますが、64 ページをお願いします。
1:02:57	64 ページはこの同じ添付資料 2 の中の 3 ポツ、確率論的な考察というところでこちらでPRAの結果を参照して、
1:03:08	地震の独立事象であるというところの考察を行っております。
1:03:12	で、
1:03:13	その結果としましては、
1:03:23	すいません、この同じはい 3 ポツの文章の中の
1:03:28	2 段落目からになりますけどもこのことについて参考のため確率論的な観点から考察すると、Ssに相当する、820 ガルまでの地震によって
1:03:41	最終的なPRA評価の結果のCDFの値としては、約 1.0 掛け 10 のマイナス 7 乗炉年となったということでここで十分小さい事象であると。
1:03:53	ということからSs相当までの地震によってSAが起きる劣勢といいますか炉心損傷が起きる頻度というのは非常に小さいというところ、ところから独立事象であると。
1:04:03	扱ってるのは妥当という結論をここで導いております。この考察を補強する。
1:04:10	材料といたしまして、66 ページからの参考として、余震全身を考慮した炉心損傷頻度の算出というものをお付けしております。
1:04:19	先ほどの 64 ページのところでは地震前末数に相当する地震未満の地震 1 回分というものを考慮しておりましたけどもここでは、さらに
1:04:31	前震+本震のイメージと、もしくは本震+余震を念頭に置きまして、地震に回分で検討した場合にどうかというところを検討したのがこちらの
1:04:44	66 ページ以降の内容になっております。
1:04:47	その結論としては、69 ページに、
1:04:53	記載をしております、69 ページの 2.2 のす。
1:04:58	最後の段落ですかね以上の算出結果からというところになりますけども、すいませんまず結果の数値自体は、地震に回分を検討したものがこの
1:05:09	上の数式で書いてある約 6.6 掛け 10 のマイナス 7 乗パー炉年となりますので、地震 1 回分に比べれば、大きい値となりますけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:20	結局性能目標と比べますと非常に小さいというところから地震に回分を想定したとしても、やはりS _s 相当までの地震によってSAが発生する確率は極めて低い、すなわち独立事象と扱うことは妥当であるという結論をこちらでも導き出せると。
1:05:37	ということでお示しをしております。
1:05:40	はい。すみませんちょっと回りくどい説明になりましたがはいご説明としては以上です。
1:05:46	規制庁のハットリですはい。ただいまの説明非常によくわかりました。はい。理解できましたので、結構です。
1:05:55	では他に。
1:05:59	何か追加で確認する点がなければ、
1:06:04	とりあえず
1:06:08	こちらの確認は終わりにしたいと思いますますがよろしいですかね。
1:06:11	はい。では中国電力側から追加で説明することを確認することがあればお願いしますどうぞ。
1:06:22	中国電力のカシワギですこちらからは特にございません。
1:06:26	規制庁のハットリですはいわかりました。では衛藤。
1:06:29	本日のヒアリング確認が終わりましたのでこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。
1:06:35	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。